



市民センターが エイドステーションに

トレイル・ランニング大会

11月6日(日)、「忍者トレイルランニング大会(プレ大会)」が開催されました。

阿波のさるびの温泉を午前7時に出発し、東海自然歩道を中心に、霊山から柘植地域を通過して、旗山・奥余野一帯までの往復45kmがコースでした。日本中から150名を超えるランナーが集い、柘植のまちを駆け抜けていきました。

朝早くから、トレイルランニング事務局スタッフ(10名)やわが柘植地域の地元スタッフ(24名)が準備をし、市民センターをランナーのエイドステーション・憩いの場として活用しました。

天候は少々寒く霊山にはガスがかかっていますが、走るには調子のよいコンディションでした。写真のように、忍者姿の応援団も登場し、約半日でしたが、センター付近はにぎやかな雰囲気

さるびの温泉から東海自然歩道・田代池・霊山山頂を通り、柘植の在所へ下りてきたランナーたち。エイドステーションは目前! ↓



↑ 水、スポーツドリンク、おにぎり、バナナやみかん、かたやき等々…、つかの間の休憩とスタッフとの交流の場所となりました。
一息つき、多くの声援を受けて、リスタート。

発行 柘植地域まちづくり協議会事務局
(柘植地区市民センター内)
三重県伊賀市柘植町一〇六四七番地
〒五一九一四〇二
電話 四五・八八八〇 FAX 四五・八八八三
発行日 二〇一六(平成二十八年)十二月一日(木)



柘植地域の至宝!旗山・北打山を背景に... 住民の声援を受けて、約150名のランナーが駆け抜けました

ちなみに大会事務局メンバーは、環境への配慮として、後日コースの清掃もしています。



柘植の魅力を肌で感じてもらいたい... 地元スタッフも、各所で道路誘導と応援を展開しました。



↑黒杭池付近の交差点。柘植駐在所の中田さんとともにランナーを誘導・応援。復路はこの後、池の堤を回り下って、柘植地区市民センターへ...



↑奥余野から横地野を経て戻ってきたランナーを応援しました。(往路は写真右の熊鷹神社方面・旗山ルートがコースでした。)



↑往路と逆に、復路は大和街道から平橋への誘導。冷たい風が吹いていました。



↑柘植駅東の大日踏切でランナーを誘導しました。JR列車の運行により、唯一、ランナーの足を止めざるを得ない地点でした。



↑ゴールへの帰路、霊山寺に向かうランナーを誘導。ここまでを柘植地域のスタッフが関わりました。

今大会の反省を活かして、 来年度の本大会を成功させよう

水平社博物館を訪ねて…

人権啓発合同事業実行委員会

柘植地域人権啓発合同事業として毎年12区合同で、近隣と遠方の2回の人権フイルドワークを行っています。本年度の遠方人権フイルドワークは10月29日(土)に奈良県の水平社博物館と奈良市南人権文化センターへ39人で行きました。水平社博物館では2班に分かれて、ガイドさんの案内で館内と周辺のフイルドワークを行いました。1871年の解放令の「5万日の日延べ」の5万日目の



参加者・西光寺門前にて(10月29日)

「ものづくりからまちづくりで地域をつないで…」

2008年9月3日のことを碑に刻んだ「解放令」から5万日目の記念碑や全国水平社創立90周年・大和同志会創立100周年記念モノコメント「いのち燦々の燈」をはじめ、館内外で水平社に関しての詳しい説明を受けました。



奈良南人権文化センターでは阪田はつみさん(写真)から、「ものづくりからまちづくり」で地域の方をつなぎ、思いを広めていった取り組みのお話を聞かせていただき、実際に、もらってきた余った靴下用のゴムをつかって指で「鍋敷き(下写真)」を編む方法を教えていただき、各自が1個ずつ手作りの鍋敷きを完成させて帰ってきました。



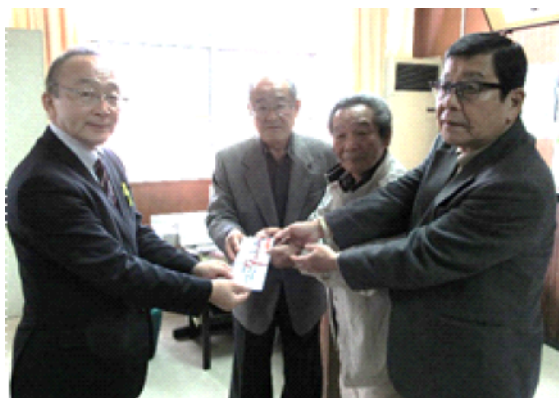
子どもたちの教育振興のために使ってください!

チャリティバザー収益金

いがまち小中学校校長会に贈呈
いがまちの3地域まち協より

さる10月21日に開催されたいがまち展覧会で、恒例のチャリティバザーでは、6万7000円(諸経費を引いた額です)の収益がありました。

11月14日午後、いがまち地域3地域のまち協(今年度は、壬生野地域会長である塚脇直樹さんが代表です。)より、いがまちの小中学校校長会(今年度、柘植中学校の西井正和校長先生が代表)に対して収益金を贈呈しました。



子どもたちの教育活動等に活用してもらうために、寄附させていただきました。

住民の皆様にはバザー品提供のご協力とご購入、ありがとうございました。

花壇とイルミネーションを設置 柘植駅をもっと素敵に！

…女性部会特製の「ざぶとん」も設置しました…

柘植駅を核とした公共交通のあり方検討委員会

柘植流で、おもてなしを…



11月21日(月)午前、「JR草津線サポーター支援事業」を主な財源に、駅構内や駅周辺を乗客のみならず、旅行者のみなさんに気持ちよく使っていただけるようにと写真の取り組みをしました(参加者25名)。

冬場は待合室のイスも冷えます。特製ざぶとんが、おしりを暖かく包んでくれます。

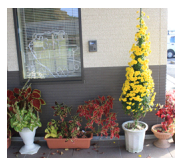
また駅を出た正面には、昼間はかわいい花々が、夜間は夜汽車のイルミネーションが迎えてくれます。

柘植地域の人には駅への愛着の気持ちを持ってもらい、旅行者の人には柘植地域に来ていただいた感謝の「おもてなし」をこれからも届けたいものです。……ぜひ駅へ来て、この取り組みをご覧ください。



確認いただき、ご参加をお願いします。(西田方計)

▼秋、深まる。▼11月7・8日に女性部会がセンター周辺の環境整備を実施しました。▼センター玄関には堀造園様提供の黄色い菊のツリー。さらに都美恵神社のみじは真っ赤に紅葉中。▼前号でお知らせしたように柘植まち協のホームページがリニューアルしました。11月21日に運営委員や各区役員を対象にしたスマホ研修を実施しました(参加者24名)。▼いまは必要ないと思われるかもしれませんが、将来を見据えて地域の情報化を進めていきます。▼1月中旬には住民向けの研修会を計画しています。今後ホームページでもご



○●○事務局だより○●○

伊賀市水道事業基本計画(水道事業ビジョン)中間案市民説明会が、11月20日(日)午後2時から、いがまち公民館で開かれました。

行政説明の後、将来の伊賀市における水需要や今後の水道事業の見通しなどについて質問が多数出されました。川上ダムのあるようについても意見が交わされました。

水の問題は命に関わる問題。5年先10年先を見越して、柘植地域で暮らす我々の大きな生活課題として、しっかりと考えていく必要があります。

